

栃木県農業大学校 令和8年度学校評価 シート

目指す方向 魅力ある農大づくり ～農大の価値を高め、とちぎの農業を担う人材を育成する！～

重点目標	現状と課題	評価項目	具体的方策	取組項目		経過・達成実績	達成度	次年度の課題と改善方向	関係者評価委員会からのコメントと回答	主担当
		評価指標		学部・塾	内 容					
1 入学生の確保 (就農を目指す応募者の増加)	(現状) ○入学者数は H23研究科廃止以降、平均64.6名と少なかったが、R3いちご学科創設以降は、平均73.3名と増加した。ただしR8は54名であった。 ○R7のオープンキャンパスの参加者は157名で、目標の160名を概ね達成した。 ○R7のとちぎ農業未来塾の受講希望者数は74名で、目標の70名を上回った。	入学生 (定員) 80名 (内訳) ・農業生産学部 70名 ・農業経営学部 (いちご学科) 10名 とちぎ農業未来塾生 70名以上 オープンキャンパス全体参加者数 160名以上	農業大学の情報、魅力の発信	生産学部 経営学部	○オープンキャンパス(OC)等による農大の理解促進 ・卒業生の進路や就農等の成功事例を紹介する ・農業関係高校や一般高校等OCにおいて在校生の協力を得て、学校生活や学びの実態についての生の声を来校者に伝える ・いちご学科は一般高校等OCの他、単独OCを実施 ・いちご学科は紹介ビデオを作成し放映する。 ・いちご学科は在校生との意見交換を新たに実施する。				学生課 企画情報部会	
					○農業高校との教育懇談会等で呼びかけるなど校内見学会の積極的な受入れを行う ○高校への出前授業、高大連携オンライン授業、J A等への農大PRの推進 ・学校説明会や出前授業等への積極的な参加			学生課 企画情報部会		
				生産学部 経営学部 未来塾	○農大の魅力発信	○HPの充実、県SNSの活用、学校紹介ビデオの作成 ・新たにSNSを開設し、各学部、学科等の情報の日常の学習風景を含めたきめ細かな魅力発信				学生課 企画情報部会
						○マスメディアの活用 ・新聞・各種広報誌等への情報提供				
○広報物によるPR ・農業高校に限らず普通高校や隣接県の農業高校にもキャンパスガイドや学生募集関係のポスター・チラシ等を適切な時期に配布										
経営学部 未来塾	○学校生産物の販売等によるPR ・農大祭における生産物及び生産物加工食品の販売 ・校外販売実習の実施			学生部会 企画情報部会						
	○関係機関等との連携									
	(課題) ●高校生や保護者に対して、農業大学の存在や特徴を認知してもらい、就農を目指す応募者の増加を図る必要がある。 ●「いちご学科」について、農業振興事務所や農業関係団体等との連携と併せて、高校生・大学生、社会人、農業者等幅広い年代への積極的な広報活動等により、「いちご経営者」を目指す学生の確保を図る必要がある。 ●とちぎ農業未来塾の受講希望者や品目については、柔軟な受け入れ体制が必要である。			経営学部 未来塾	○新規就農イベント等におけるPR ・新規就農相談会の紹介やテクノフェア等への参加 ・未来塾受講希望者の希望品目を積極的に採用				いちご学科 未来塾担当	
				生産学部 経営学部	○合格者への情報提供 (後期) ・入学までの校内イベントや、県の就農相談等の情報提供			学生課		